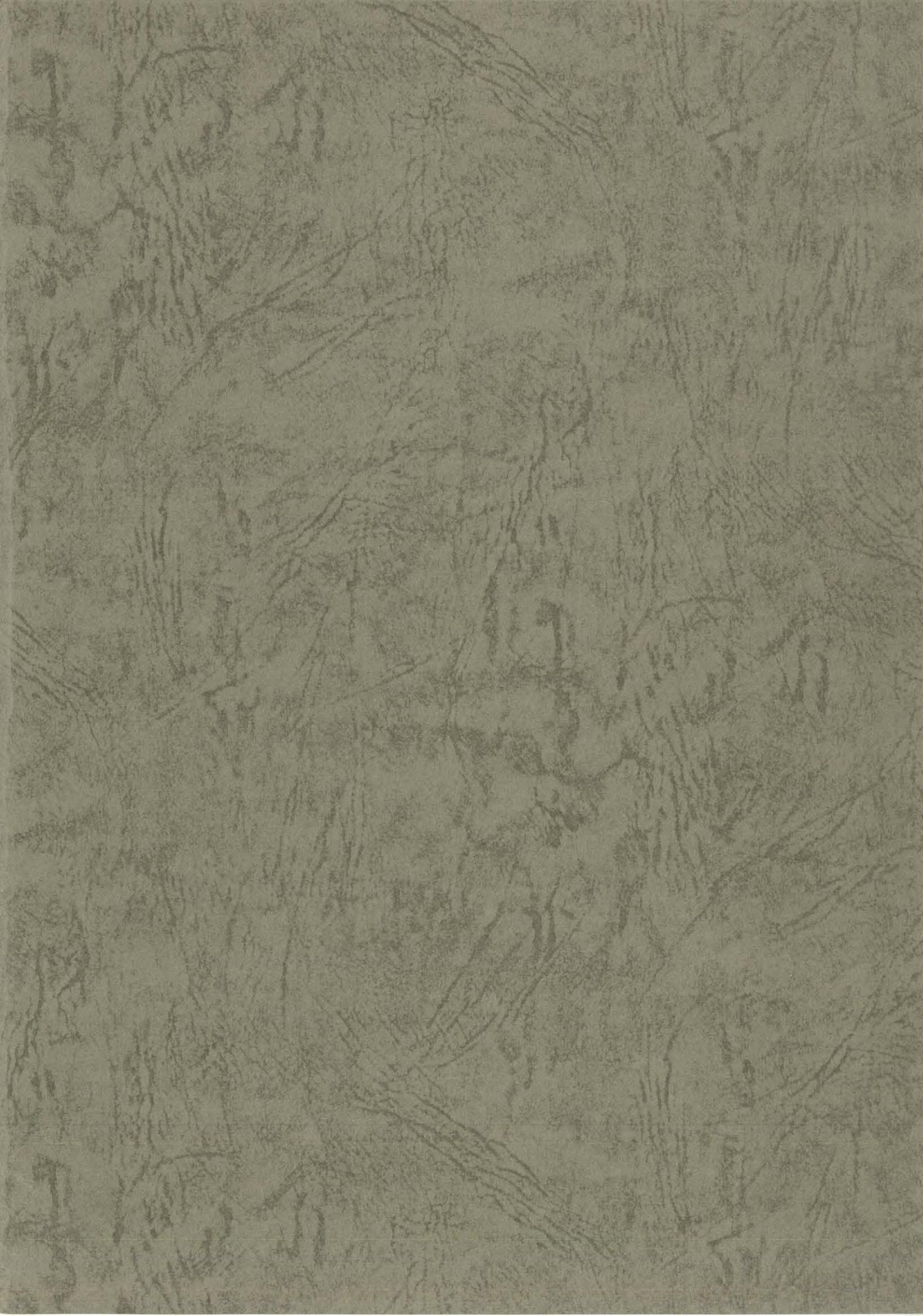


田尻町文化財調査報告 第17集

# 田尻町内遺跡群発掘調査概要10

2009.3

泉南郡田尻町教育委員会



## はじめに

埋蔵文化財（遺物・遺構）を包蔵している遺跡は、普段は私達の目に触れるることは、ほとんどありません。地中の中で永い年月の間、遺構や遺物などの埋蔵文化財は保存されてきました。しかし、近年開発等による掘削工事により埋蔵文化財が破壊されてきています。

遺跡には、先人達の大切なメッセージが埋蔵文化財として託されています。そのメッセージを現在の町民、更には未来の町民に伝えてゆかなければなりません。

本書は、平成20年度埋蔵文化財国庫補助事業として田尻町教育委員会が実施した開発確認調査や試掘調査の成果を収録しています。この地域の歴史像をさらに豊かにするための資料として活用していただければ幸いです。

概要を報告するに当たり、調査にご協力いただいた地元の方々並びに関係各位にお礼申し上げるとともに、今後とも文化財保護をご理解とご協力を賜りますようお願い申しあげます。

平成21年3月31日

泉南郡田尻町教育委員会  
教育長 二澤 隆史

## 例　　言

1. 本書は、泉南郡田尻町教育委員会が平成20年度に国庫補助金を受けて実施した、大阪府泉南郡田尻町域における埋蔵文化財緊急発掘調査の概要報告である。
2. 調査は泉南郡田尻町教育委員会学事課文化財保護係 中野篤史を担当者として、平成20年4月1日に着手し、平成21年3月31日に終了した。
3. 本書における図面の方針については磁北を示す。
4. 調査の実施にあたっては、下記の諸氏の参加協力を得た。  
野口礼、河瀬一裕
5. 現地調査にあたっては、土地所有者をはじめとする工事関係者等多くの方々の協力を得た。感謝の意を表する
6. 本書の執筆、編集は中野、野口がおこなった。
7. 本書は、平成20年1月から平成21年3月までに実施した調査を掲載している。

# 目 次

## 第1章 埋蔵文化財調査の現状

1. 田尻町の位置と環境	1
2. 平成20年度の埋蔵文化財調査の現状	1
3. 各遺跡の概要	2

## 第2章 調査の概要

各種開発確認調査 01	5
各種開発確認調査 02	6
各種開発確認調査 03	7
まとめ	8

報告書抄録 ..... 卷末

## 挿 図

図 1 田尻町位置図	1
図 2 遺跡分布図	4
図 3 調査地点位置図（各種開発確認調査01）	5
図 4 調査区設定図（各種開発確認調査01）	5
図 5 土層断面図（各種開発確認調査01）	5
図 6 調査地点位置図（各種開発確認調査02）	6
図 7 調査区設定図（各種開発確認調査02）	6
図 8 土層断面図（各種開発確認調査02）	6
図 9 調査地点位置図（各種開発確認調査03）	7
図10 調査区設定図（各種開発確認調査03）	7
図11 土層断面図（各種開発確認調査03）	8

## 挿 表

表 1 過去 5 年間の届出件数表	1
表 2 遺跡別発掘届出件数表	1
表 3 届出・通知・試掘依頼一覧	2

## 図 版

図版 1 調査地全景（各種開発確認調査01）	トレンチ断面（各種開発確認調査01）
図版 2 トレンチ全景（各種開発確認調査02）	トレンチ断面（各種開発確認調査02）
図版 3 トレンチ全景（各種開発確認調査03）	トレンチ全景（各種開発確認調査03）

# 第1章 文化財調査の状況

## 1. 田尻町の位置と環境

田尻町は大阪府の南西部、大阪湾海岸線の中央部に位置し、東は泉佐野市、南西は泉南市に接し、北西は大阪湾に面する。町域の面積は約4.7平方kmである。海岸線に並行して南海本線が、町域南部を国道26号線がとおり、泉南地域の基幹交通路となっている。町域の北東部から中央部にかけて田尻川、南西部を樅井川が流れ大阪湾に注いでいる。

## 2. 平成20年度の埋蔵文化財調査の現状

田尻町は、近年の財政状況の悪化により公共工事が減少し、また、不況下の影響により民間の小規模な分譲住宅や共同住宅等の開発も減少している。

平成20年度における文化財保護法第93条、第94条に基づく土木工事等による埋蔵文化財発掘の届出は民間開発に伴うもの2件、公共工事に伴うもの2件の計4件である。また、遺跡範囲外での各種開発確認調査のための試掘依頼の件数は2件となっている。過去5年間の文化財保護法関係の届出件数は表1、表2のとおりである。また、平成20年度調査地は表3のとおりである。



図1 田尻町位置図

	個人住宅	民間開発	公共工事	合計
平成16年度	2	1	2	5
平成17年度	0	17	0	17
平成18年度	1	6	2	9
平成19年度	2	1	1	4
平成20年度	0	2	2	4

(遺跡発見届出を含む)

表1 過去5年間の届出件数表

番号	遺跡名	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
1	田尻遺跡	2	1	5	4	2
2	夫婦池遺跡					1
3	船岡山遺跡	1	1	1		1
4	嘉祥神社本殿					
5	船岡山南遺跡					
6	藤波遺跡					
7	吉見藩陣屋跡	2	2			
8	羽倉崎遺跡					
9	樅井西遺跡					
10	林寄遺跡					
11	中島遺跡		13	3		

(遺跡発見届出を含む)

表2 遺跡別発掘届出件数表

	申請者	申 請 地	原因	遺跡名	指導事項	検出遺構	出土遺物
1	民間開発事業者	田尻町大字吉嘉祥寺地内	分譲住宅	範囲外	開発確認	なし	なし
2	民間開発事業者	田尻町大字嘉祥寺地内	分譲住宅	船岡山遺跡	発掘調査		
3	個人開発事業者	田尻町大字吉見地内	共同住宅	田尻遺跡	発掘調査	土坑、落込み	土師器、瓦器
4	個人開発事業者	田尻町大字吉見地内	共同住宅	範囲外	開発確認	なし	なし
5	田尻町	田尻町大字吉見地内	水路改修	夫婦池遺跡	工事立会		
6	田尻町	田尻町大字吉見地内	グラウンド構造物撤去	田尻遺跡	工事立会		

※太字は文化財保護法に基づく届出・通知

表3 届出・通知・試掘依頼一覧

### 3. 各遺跡の概要

#### 1. 田尻遺跡

田尻遺跡は、本町の中央部に標高5m～7mにかけて位置する古墳時代から中世にかけての遺物散布地である。これまでに27ヵ所の調査を実施しているが、各調査の調査面積が狭小なため、遺跡の性格は不明である。これまでの調査で中世から近代にかけての粘土採掘坑や古墳時代から奈良時代ころと思われる小規模な溝などが、検出されている。須恵器・土師器・瓦器・陶磁器・瓦などが古墳時代から近世にかけての遺物が出土している。

#### 2. 夫婦池遺跡

夫婦池遺跡は、田尻町の南部、泉佐野市にまたがる、標高7m～9mにかけて位置する弥生時代から古墳時代にかけての遺物散布地である。これまでに泉佐野市教育委員会による同遺跡の調査で溝状遺構、井戸、柱穴群、スキ溝が検出されている。弥生土器、土師器、須恵器、瓦器・陶磁器などが出土している。

#### 3. 船岡山遺跡

船岡山遺跡は、田尻町の東部、泉佐野市にまたがる、樅井川の右岸に沿う沖積段丘上に位置する縄文時代晚期から弥生時代前期にかけての遺物包含層がある遺跡である。これまでに大阪府教育委員会、泉佐野市教育委員会による同遺跡の調査で溝、土坑、柱穴が検出されている。弥生土器、土師器、須恵器、瓦器等が出土している。

#### 4. 嘉祥神社本殿

桃山建築様式を伝える江戸時代初期の神社建築物。大阪府指定文化財。

#### 5. 船岡山南遺跡

田尻町の南東部、泉佐野市に広がる標高8m～10mに位置する弥生時代～中世にかけての遺物散布地である。これまでに泉佐野市域で調査がおこなわれているが、遺構は検出されていない。遺物は土師器、瓦器が出土している。

## **6. 藤波遺跡**

田尻町の南部、主に泉佐野市に広がる標高10m～12mに位置する中世の遺物散布地である。これまでに泉佐野市教育委員会による同遺跡の調査で、溝、ピットが検出されている。遺物は瓦器、土師器、陶磁器が出土している。

## **7. 吉見藩陣屋跡**

田尻町の北部、旧街道（孝子越街道）沿いの標高4m～5mに位置する中世～近世にかけての遺物散布地である。これまでの調査では、粘土採掘坑などが検出されている。遺物は、土師器、須恵器、瓦器、陶磁器が出土している。

なお、遺跡内には大阪府指定有形文化財（建造物）田尻歴史館（旧谷口家吉見別邸）がある。

## **8. 羽倉崎遺跡**

田尻町の北東部、主に泉佐野市に広がる標高3m～6mに位置する古墳時代の遺物散布地である。これまでの調査では、遺構は検出されていない。遺物は土師器が出土している。

## **9. 横井西遺跡**

田尻町の南部、主に泉佐野市に広がる標高10m～11mに位置する弥生～中世の遺跡である。これまでの泉佐野市教育委員会の調査で、弥生時代中期の方形周溝墓、中世の掘立柱建物址などが検出されている。遺物は、弥生土器、土師器、須恵器、黒色土器、瓦器、陶磁器が出土している。

## **10. 林寄遺跡**

田尻町の北部、旧街道（孝子越街道）沿いの標高2m～4mに位置する近世墓地跡である。近代に移転された。これまでの調査により土坑、スキ溝などが検出されている。遺物は、陶磁器のほか弥生土器、土師器が出土している。

## **11. 中島遺跡**

田尻町の中央部に所在する標高3.5～4mに位置する中世～近世の集落跡である。平成15年度に実施した試掘調査により新規に発見した。土坑、小穴等の遺構が検出されている。遺物は瓦器、土師器が出土している。

遺跡地名表

番号	遺跡名	種類	時代	地目	立地	摘要
1	田尻遺跡	散布地	古墳	田・宅地	平地	土師器、須恵器(散布地)
2	夫婦池遺跡	散布地	弥生～古墳	溜池・畑地	平地	土師器、須恵器、瓦器(泉佐野市教委)
3	船岡山遺跡	散布地	縄文～弥生	田・畑地	平地	サヌカ付(散布地)
4	嘉祥神社本殿	建造物	近世		平地	府指定有形文化財(昭和50年3月31日)
5	船岡山南遺跡	散布地	弥生～古墳	田・溜池	平地	
6	藤波遺跡	散布地・集落跡	中世	田	平地	
7	吉見藩陣屋跡	陣屋跡	中世	宅地	平地	現況は春日神社と既存集落
8	羽倉崎遺跡	散布地	古墳	宅地	平地	
9	櫻井西遺跡	集落跡	弥生～中世	田	平地	
10	林寄遺跡	その他の墓	近世	宅地	平地	陶磁器、弥生土器
11	中島遺跡	集落跡	中世	宅地	平地	土師器、須恵器、瓦器

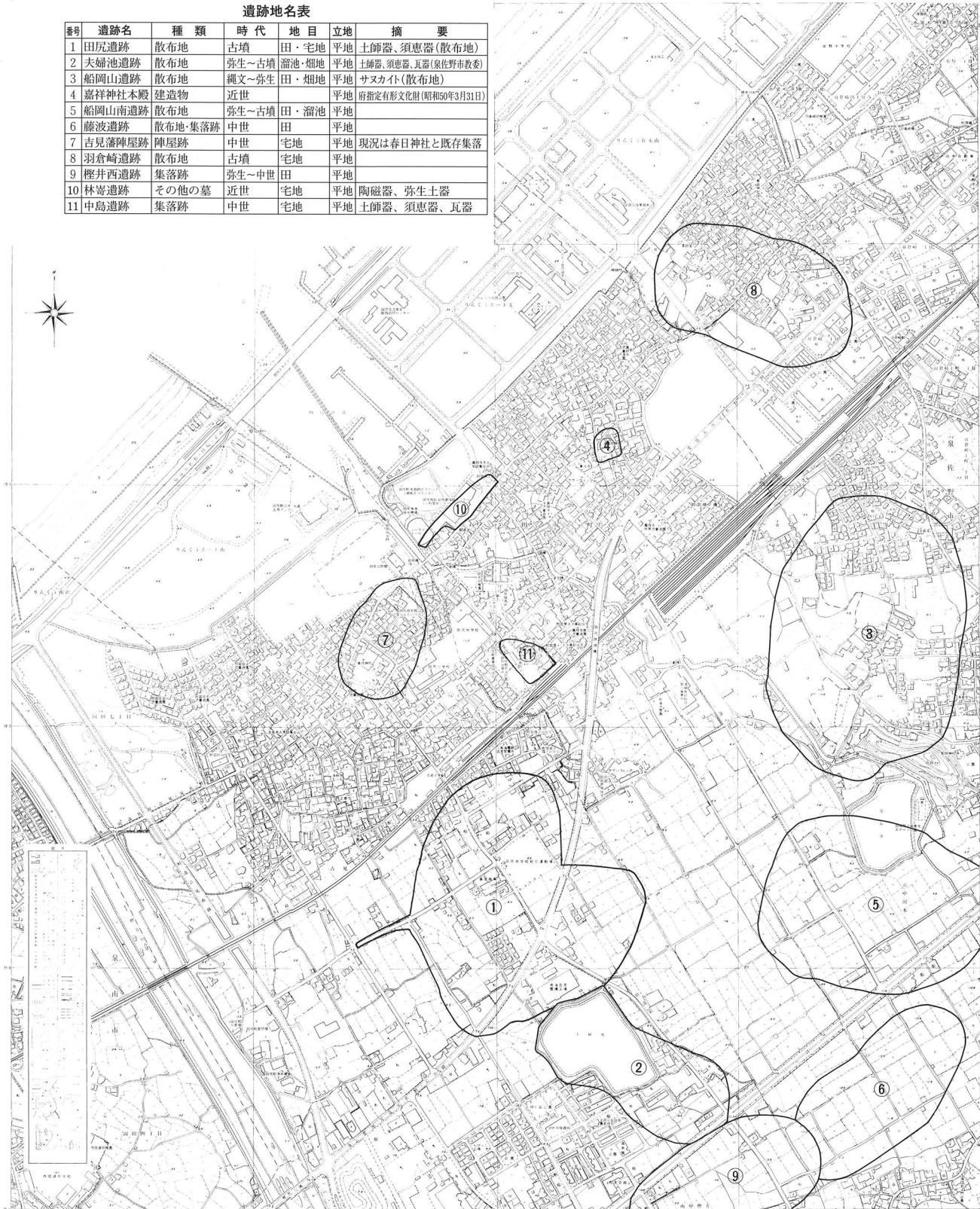


図2 遺跡分布図

## 第2章 調査の概要

### 各種開発確認調査01

1. 遺跡名 範囲外
2. 申請者 民間開発事業者
3. 調査地 田尻町大字嘉祥寺地内
4. 調査原因 分譲住宅建築
5. 申請面積 470.72m<sup>2</sup>
6. 調査面積 1 m<sup>2</sup>
7. 調査期間 平成20年7月3日
8. 調査機関名 田尻町教育委員会
9. 調査の概要

今回の調査は分譲住宅建築に伴う試掘調査である。調査地は、旧来の嘉祥寺地区集落の海浜部の標高4.5mに位置している。調査地は孝子越街道（「浜街道」ともいう。）に面し、付近には北東側に古墳時代の羽倉崎遺跡、南西側に桃山建築様式の嘉祥神社本殿（江戸時代初期、大阪府指定有形文化財）や真光寺の近世社寺がある。

調査は、開発区域内に調査区を1ヵ所設定し、1m<sup>2</sup>について実施した。

### トレンチ1

開発区域内の中央部に幅1m、長さ1mの調査区を設定し、遺物・遺構の有無に注意しながら掘削を行った。トレンチ1の層序は上から盛土（層厚約20cm）、砂層（層厚約60cm）、黒色粘土（層厚約30cm）、灰褐色砂質土（層高約30cm）の順である。現況G.L.下1mまで掘削したところで、地下水が湧出しあはじめ

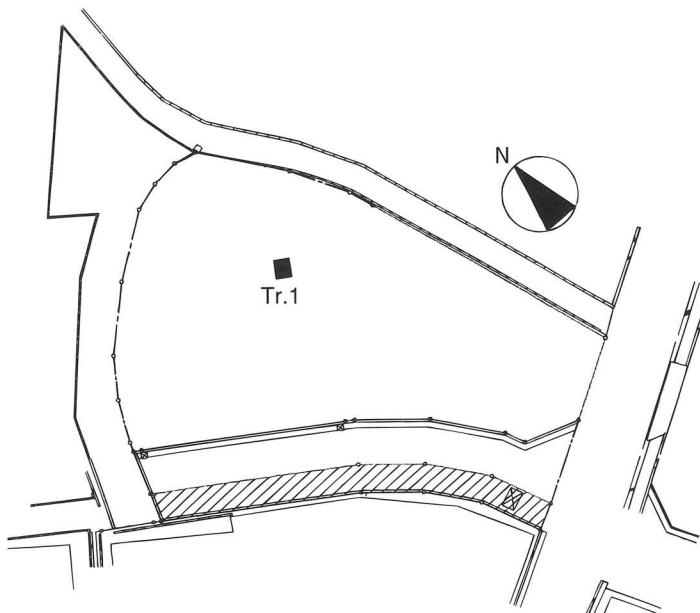


図4 調査区設定図 (1/5,000)

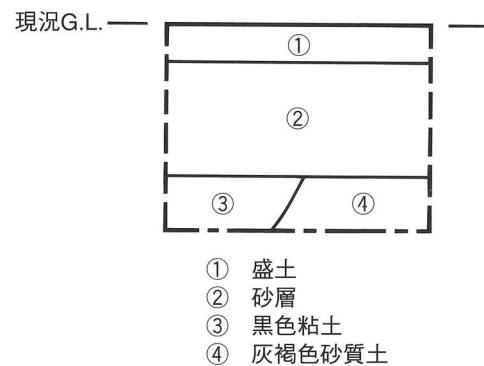


図5 土層断面図 (1/40)

たので地山面まで確認できなかった。遺構、遺物は検出していない。

## 各種開発確認調査02

1. 遺跡名 範囲外
2. 申請者 個人
3. 調査地 田尻町大字吉見地内
4. 調査原因 共同住宅建築
5. 申請面積  $499.41\text{m}^2$
6. 調査面積  $1.5\text{m}^2$
7. 調査期間 平成20年11月13日  
～11月17日
8. 調査機関名 田尻町教育委員会
9. 調査の概要

今回の調査は共同住宅建築に伴う試掘調査である。

調査地は、旧来の吉見地区集落の南側、海浜部の標高5mに位置している。付近には南東側に古墳時代の田尻遺跡があり、これまでの調査で弥生時代から古墳時代にかけての溝や近世の粘土採掘土坑が確認されている。

調査は申請成区域内に1カ所の調査区を設定し、 $1.5\text{m}^2$ について実施した。

### トレンチ1

調査地の中央部付近に幅1m、長さ1.5mの調査区を設定し、遺物・遺構の有無に注意しながら掘削し調査を実施した。

トレンチの層序は上から盛土(層厚約70cm)、耕土(層厚約15cm)、灰黄褐色土(床土、10YR4/2、層厚約7cm)、灰黄褐色土(2.5YR4/2)の順に堆積している。

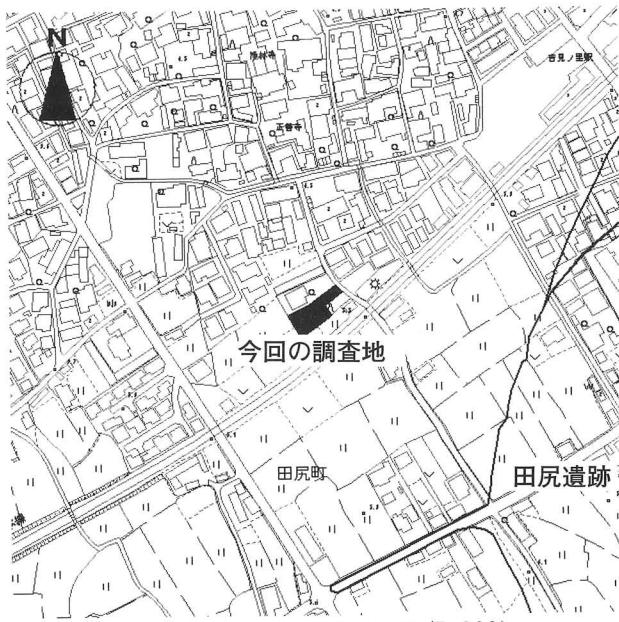


図6 調査地点位置図 (1/5,000)

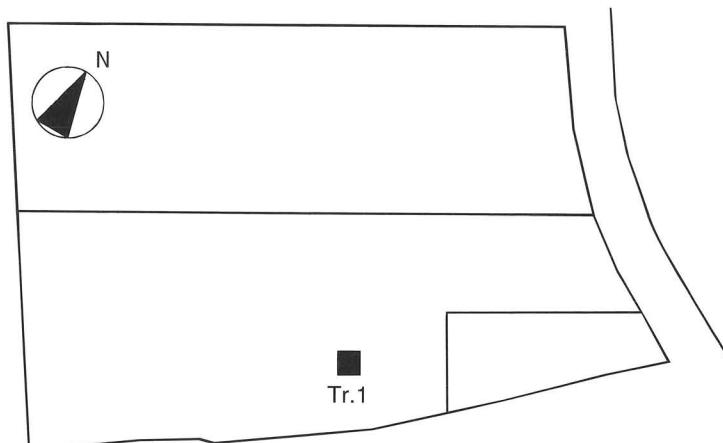


図7 調査区設定図 (1/500)

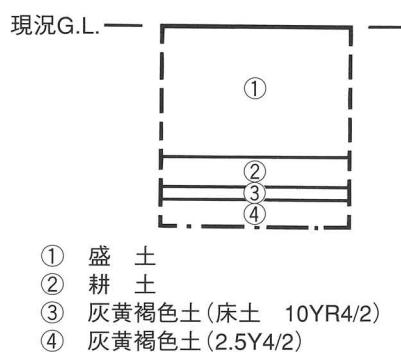


図8 土層断面図 (1/40)

基礎掘削工事が及ばないため地山面までは確認していない。遺構、遺物は検出していない。

### 各種開発確認調査03

1. 遺 跡 名 田尻遺跡
2. 申 請 者 個人
3. 調 査 地 田尻町大字吉見地内
4. 調 査 原 因 共同住宅
5. 申 請 面 積 597.14 m<sup>2</sup>
6. 調 査 面 積 4 m<sup>2</sup>
7. 調 査 期 間 平成19年7月22日  
～7月24日
8. 調査機関名 田尻町教育委員会
9. 調査の概要

今回の調査は共同住宅建築に伴う田尻遺跡第28次調査である。これまでの田尻遺跡の調査で弥生時代から古墳時代にかけての溝、近世の粘土採掘土坑が確認されている。

調査地は、町の中央部、標高6mに位置している。

調査は、開発区域内に調査区を1カ所設定し、4 m<sup>2</sup>について実施した。

#### トレンチ1

開発区域内北東部に幅2m、長さ2mの調査区を設定し、遺物・遺構の有無に注意しながら掘削を行った。トレンチ1の層序は上から①耕土(層厚約20～30cm)、④灰黄褐色砂質土(10YR4/2、層厚約30)、⑤にぶい黄褐色粘質土(10YR4/3、層厚約5cm)、

⑥灰褐色粘質土(7.5YR4/2、層厚約5cm)、⑦にぶい黄褐色粘質土(10YR4/3、層厚約20cm)、⑧灰黄褐色粘質土(10YR5/2、層厚約20cm)の順である。トレンチ北端より落込み状の遺構を検出した。遺構の深さは約40cmを測る。遺構内から遺物は検出されなかった。⑦のにぶい黄褐色粘質土より土師器、須恵器、瓦器等の細片が出土している。



図9 調査地点位置図 (1/5,000)

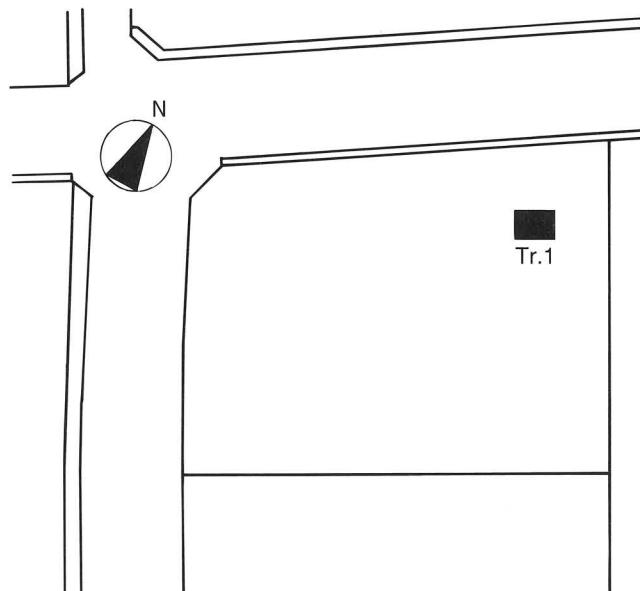


図10 調査区設定図 (1/500)

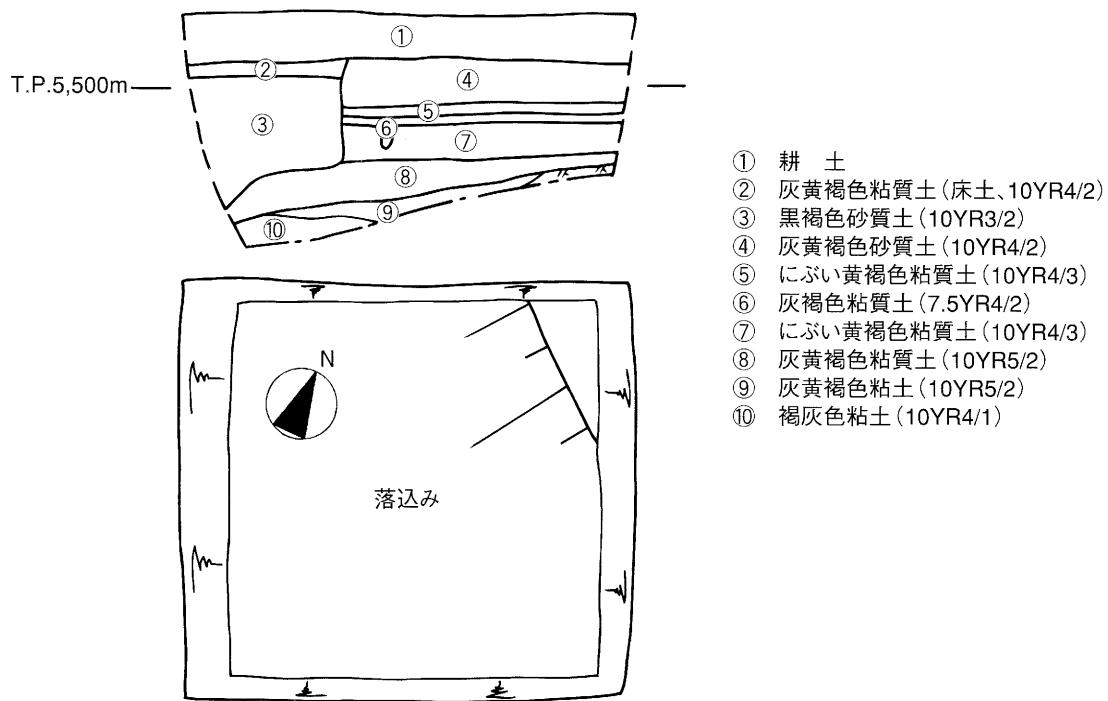


図11 土層断面図・平面図 (1/40)

### まとめ

本年度の調査の結果、開発確認調査01～02では顕著な遺構は検出されなかった。確認調査03では落込み状の遺構を検出し、包含層中より土師器、須恵器、瓦器等の細片が出土した。

これまでの田尻遺跡の調査により、近世（あるいは近代）の粘土採掘土坑とその土坑により破壊されている古墳時代前後の溝が検出されているが、未だに集落などの痕跡は発見されていない。

今後も小規模な確認調査をとおして遺跡についての詳細が明らかとなることを期したい。

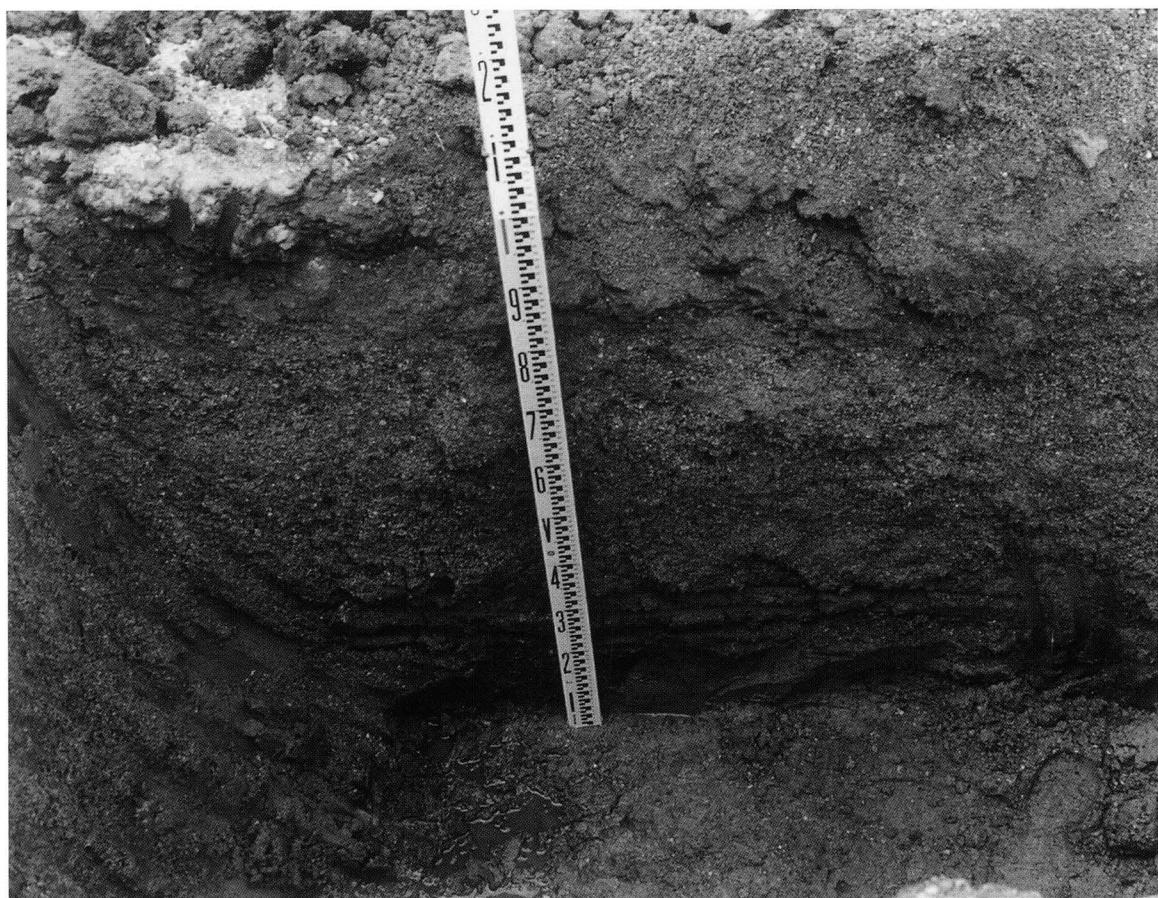
(参考文献)

書名	編集・発行	発行年
『泉佐野市所在遺跡発掘調査概要Ⅰ』	泉佐野市教育委員会	1981.3
『昭和56年度 泉佐野市埋蔵文化財発掘調査概要Ⅱ』	泉佐野市教育委員会	1982.3
『大阪府文化財調査概要 1984年度』所収 「田山遺跡発掘調査概要 付章 田尻遺跡の調査」	大阪府教育委員会	1985.3
『昭和60年度 泉佐野市埋蔵文化財発掘調査概要Ⅵ』	泉佐野市教育委員会	1986.3
『夫婦池遺跡発掘調査報告書』	泉佐野市教育委員会	1986.3
『昭和61年度 泉佐野市埋蔵文化財発掘調査概要Ⅶ』	泉佐野市教育委員会	1987.3
『昭和62年度 泉佐野市埋蔵文化財発掘調査概要Ⅷ』	泉佐野市教育委員会	1988.3
『昭和62年度 田尻遺跡・船岡山遺跡発掘調査概要』	大阪府教育委員会	1988.3
『昭和63年度 泉佐野市埋蔵文化財発掘調査概要Ⅸ』	泉佐野市教育委員会	1989.3
『平成2年度 泉佐野市埋蔵文化財発掘調査概要』	泉佐野市教育委員会	1991.3
『泉南郡遺跡群発掘調査概要・Ⅲ』	大阪府教育委員会	1993.3
『田尻遺跡発掘調査概要』	田尻町教育委員会	1994.7
『泉佐野市埋蔵文化財発掘調査概要 平成6年度』	泉佐野市教育委員会	1995.3
『泉佐野市埋蔵文化財発掘調査概要 第22号』	泉佐野市教育委員会	1996.3
『泉佐野市埋蔵文化財発掘調査概要 平成9年度』	泉佐野市教育委員会	1998.3
『泉佐野市埋蔵文化財発掘調査概要 平成10年度』	泉佐野市教育委員会	1999.3
『田尻町内遺跡群発掘調査概要1』	田尻町教育委員会	2000.3
『田尻町内遺跡群発掘調査概要2』	田尻町教育委員会	2001.3
『平成12年度 田尻遺跡発掘調査概要』	田尻町教育委員会	2001.3
『田尻町内遺跡詳細分布調査概要』	田尻町教育委員会	2001.3
『田尻町内遺跡群発掘調査概要3』	田尻町教育委員会	2002.3
『田尻町内遺跡群発掘調査概要4』	田尻町教育委員会	2003.3
『田尻町内遺跡群発掘調査概要5』	田尻町教育委員会	2004.3
『田尻町内遺跡群発掘調査概要6』	田尻町教育委員会	2005.3
『田尻町内遺跡群発掘調査概要7』	田尻町教育委員会	2006.3
『田尻町内遺跡群発掘調査概要8』	田尻町教育委員会	2007.3
『田尻町内遺跡群発掘調査概要9』	田尻町教育委員会	2008.3

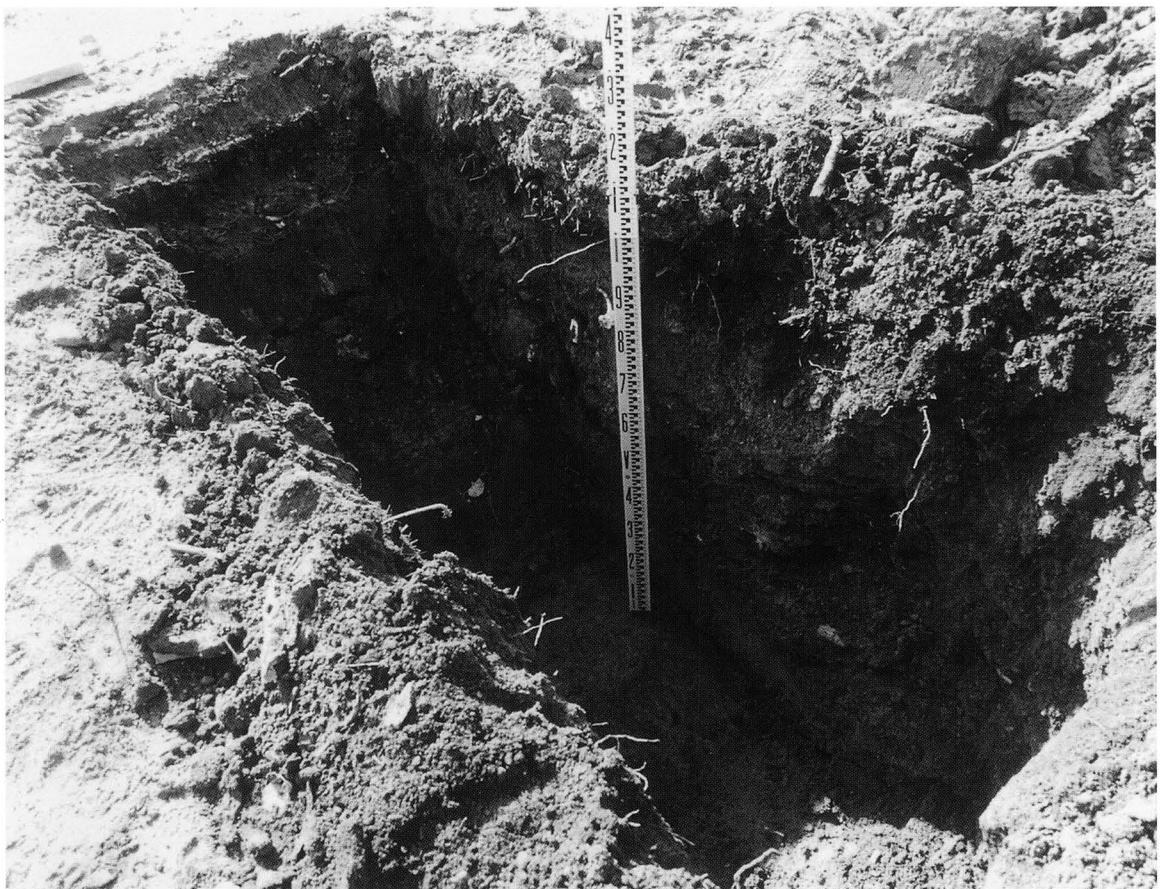
図 版



調査地全景（各種開発確認調査01）



トレンチ断面（各種開発確認調査01）



トレンチ全景（各種開発確認調査02）



トレンチ断面（各種開発確認調査02）



トレンチ全景（各種開発確認調査03）



トレンチ全景（各種開発確認調査03）

# 報告書抄録

ふりがな	たじりちょうないせきぐんはっくつちょうさがいよう
書名	田尻町内遺跡群発掘調査概要
副書名	
卷次	10
シリーズ名	田尻町文化財調査報告
シリーズ番号	第17集
編著者名	野口 礼、中野篤史
編集機関	泉南郡田尻町教育委員会
所在地	大阪府泉南郡田尻町大字嘉祥寺 883番地の1
発行年月日	2009年3月31日

所収遺跡名	所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積 (m <sup>2</sup> )	調査原因
		市町村	遺跡番号					
遺跡範囲外	おおさかふ 大阪府 せんなんぐん 泉南郡 たじりちょう 田尻町 かしょうじ 嘉祥寺			34° 39' 943"	135° 29' 427"	平成20年 7月3日	1	分譲住宅 建築
遺跡範囲外	おおさかふ 大阪府 せんなんぐん 泉南郡 たじりちょう 田尻町 よしみ 吉見			34° 38' 956"	135° 28' 704"	平成20年 11月13日～ 11月17日	1.5	共同住宅 建築
田尻遺跡 第28次	おおさかふ 大阪府 せんなんぐん 泉南郡 たじりちょう 田尻町 よしみ 吉見			34° 38' 898"	135° 28' 958"	平成20年 7月22日～ 7月24日	4	共同住宅 建築
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項			
遺跡範囲外			なし	なし				
遺跡範囲外			なし	陶磁器、瓦				
田尻遺跡 第28次	散布地	古墳	落込み	土師器、須恵器、 瓦器				

田尻町文化財調査報告 第17集

田尻町内遺跡群発掘調査概要10

2009年3月

編集・発行 泉南郡田尻町教育委員会

〒598-0091

大阪府泉南郡田尻町大字嘉祥寺883番地の1

TEL 072-466-8801

印 刷 小笠原印刷株式会社

大阪府泉佐野市新安松2丁目4-1

